

参 考 資 料

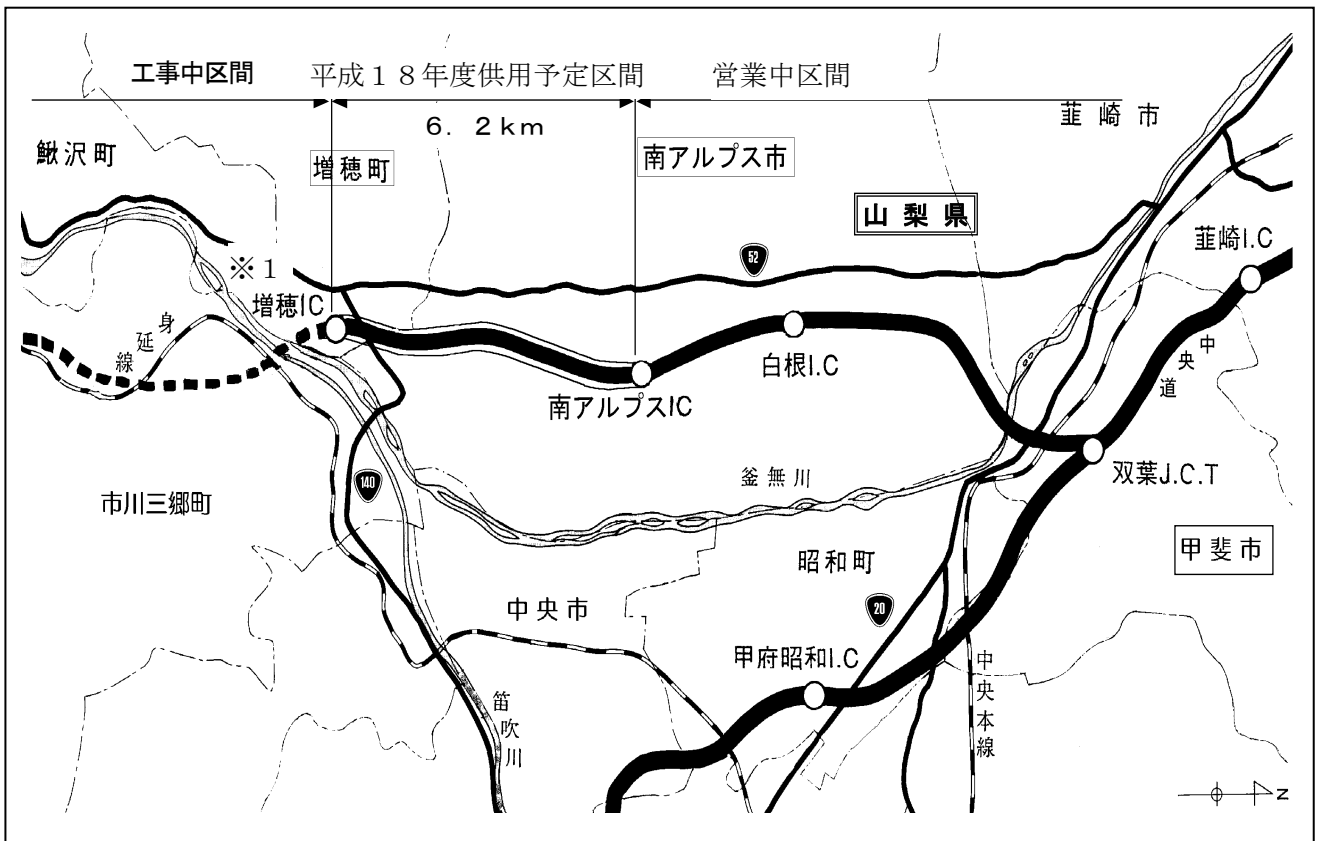
- 参一 1 供用予定区間概要
・ 中部横断自動車道 増穂～南アルプス
・ 首都圏中央連絡自動車道 八王子 JCT～あきる野
- 参一 2 新設・改築費の道路別内訳表
- 参一 3 平成 18 年度新たな料金割引について
- 参一 4 道路管理に関するアウトカム指標
- 参一 5 中日本高速道路株式会社 道路網図

参-1-1 供用予定区間概要

中部横断自動車道（増穂^{ますほ}※1^{みなみ}～南アルプス）

- 開通区間 山梨県南巨摩郡増穂町^{みなみこま}から
山梨県南アルプス市^{みなみ}まで
- 延長 6.2 km
- 幅員及び車線数 3.5 m×2車線
- 設計速度 80 km/h
- インターチェンジ 1箇所
増穂IC^{ますほ}※1^{みなみ} 山梨県南巨摩郡増穂町（一般国道52号に連結）

※1 工事中の施設名称は、仮称である。



圏央道 (八王子JCT～あきる野)

- 開通区間 東京都八王子市 から

東京都あきる野市まで

- 延長 9.6 km

(うち、0.4 kmは、東日本高速道路(株)の所掌)

- 幅員及び車線数 3.5 m × 4 車線

- 設計速度 80 km/h

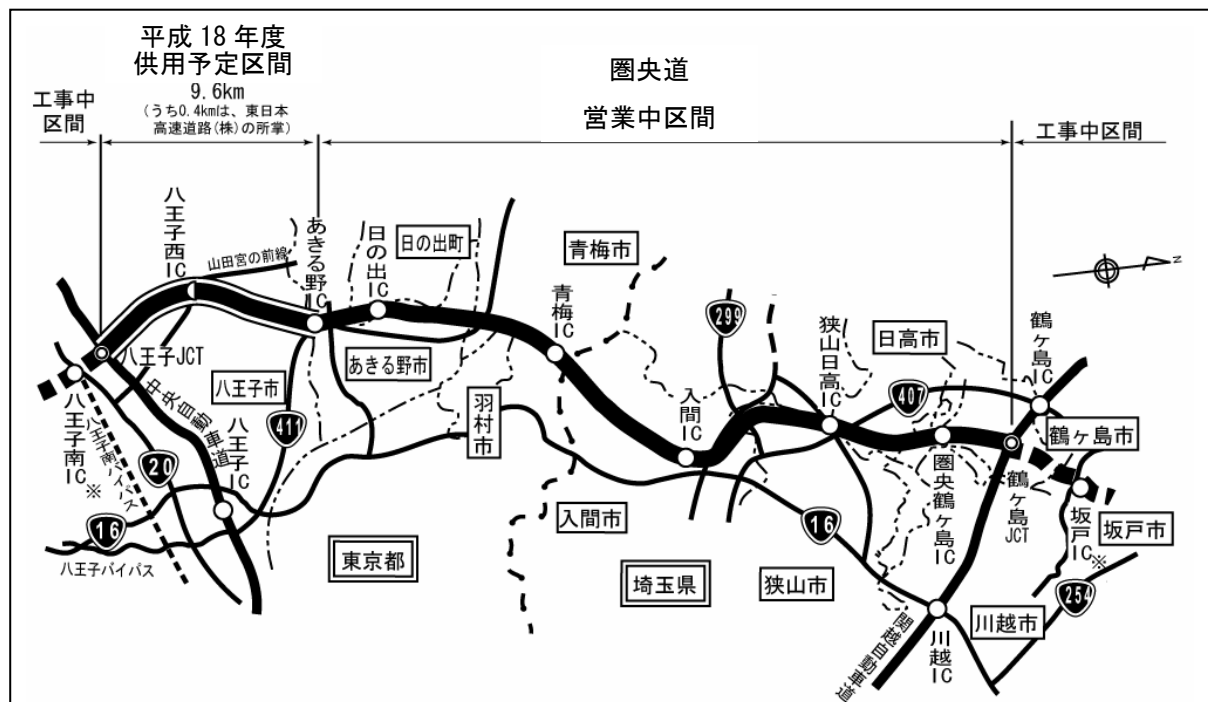
- ジャンクション 1 箇所

八王子JCT 東京都八王子市 (中央自動車道に連結)

- インターチェンジ 1 箇所

八王子西IC 東京都八王子市 (都道山田宮の前線に連結)

※工事中の施設名称は、仮称である。



平成18営業年度 事業計画 新設・改築費 道路別内訳

(単位：億円)

道 路 名	金 額	備考
中 央 自 動 車 道	61	
第 一 東 海 自 動 車 道	125	
東 海 北 陸 自 動 車 道	351	
第 二 東 海 自 動 車 道	1,850	
中 部 横 断 自 動 車 道	53	
近 畿 自 動 車 道	627	
首都圏中央連絡自動車道等	203	
合 計	3,270	

※一般管理費、支払利息は除く。

平成 18 営業年度新たな料金割引について

○現在実施している割引制度の適用拡大

(1) 一般有料道路のマイレージポイントを50円で1ポイントに変更

一般有料道路を利用した場合のETCマイレージサービスのポイントを、ご利用額100円につき1ポイントであったものをご利用額50円につき1ポイントに変更いたします。

(例) 東海環状自動車道 美濃加茂IC～土岐南多治見ICを普通車でご利用の場合

通行料金 800円

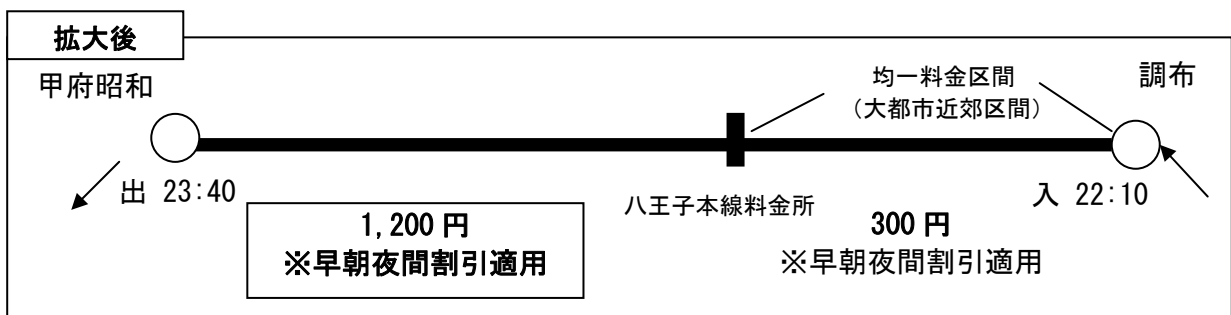
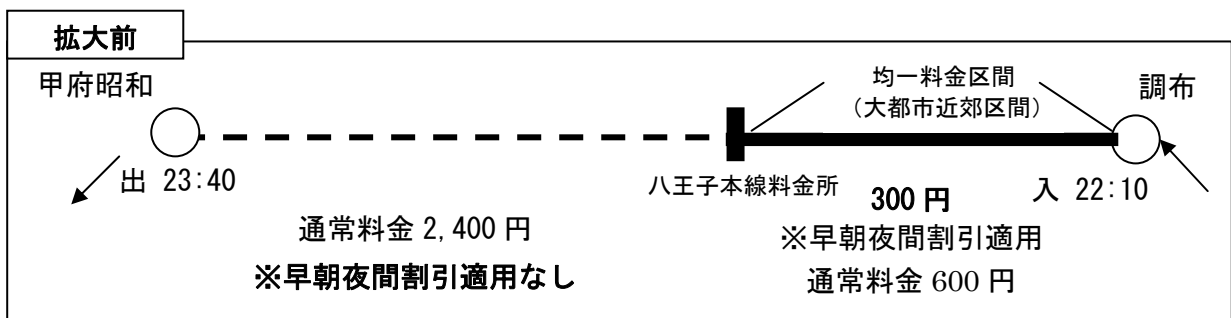
マイレージポイント 変更前) 8ポイント⇒変更後) 16ポイント

(参考)

ポイントの交換単位	還元額 (無料通行分)
100ポイント	200円分
200ポイント	500円分
600ポイント	2500円分
1000ポイント	8000円分

(2) 中央自動車道 早朝夜間割引適用区間の拡大

中央自動車道については均一区間 (高井戸～八王子) のみの適用としていた早朝夜間割引の適用区間を、均一区間を含んで走行する場合において、最大、甲府昭和・河口湖まで対象区間を拡大いたします。(50%割引)



(3) 伊勢湾岸道路 時間帯割引の導入

伊勢湾岸道路について、時間帯割引（深夜割引、通勤割引）を導入いたします。

※走行例（飛島～東海 普通車）

	導入前	導入後
通常	850円	
通勤割引（50%割引）	適用なし	450円
深夜割引（30%割引）		600円

（参考）深夜割引：午前0時から午前4時の間に高速国道を走行し、料金所をETCで通過した場合に30%割引

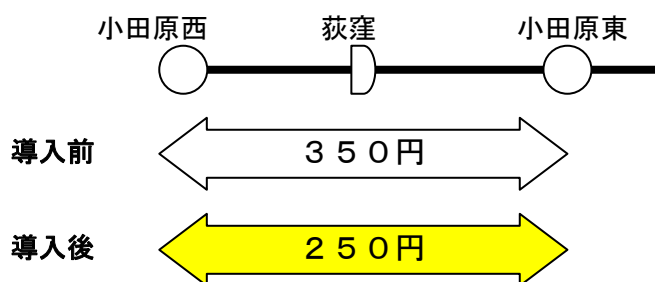
通勤割引：午前6時～午前9時までの間または午後5時～午後8時までの間に高速国道の料金所をETCで通過し走行距離が100km以内の場合に50%割引

早朝夜間割引：午後10時～翌午前6時の間に高速国道の料金所をETCで通過し、東京、大阪の大都市近郊区間内を含んで走行距離が100km以内の場合に50%割引

○新たな割引の実施

(1) 小田原厚木道路 特定区間割引の導入

小田原厚木道路において、小田原西・荻窪～小田原東の区間を走行する場合に、特定区間割引を導入いたします。



車種別割引料金

車種	導入前	導入後
軽自動車等	300円	200円
普通車	350円	250円
中型車	350円	250円
大型車	550円	400円
特大車	950円	700円

参-4

《道路管理に関するアウトカム指標》

お客様の視点に立った分かりやすい客観的な指標（アウトカム指標）を事業目標として設定し、適正な管理水準の確保に努めてまいります。

区分	アウトカム指標	定義	単位	平成17年度末見込値	平成18年度末目標値
安全	死傷事故率	走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数	件/億台 ^{キロ}	※1 9.9	前年度を下回るよう努め、定期的にチェックしていく
	舗装保全率	舗装路面の健全度を表す車線の延長比	%	91	※3 93
	橋脚補強完了率	耐震補強を必要とする橋脚の完了割合	%	95	96
快適	E T C 利用率	E T C 導入済み料金所におけるE T C 利用者の割合	%	※2 62	73
	路上工事による車線規制時間	路上作業に伴う年間の交通規制時間	時間/ (km・年)	62	前年度を下回るよう努め、定期的にチェックしていく
定時性	本線渋滞損出時間	本線渋滞が発生することによる利用者の損失時間	万台・時間/年	666	664
	利用時間確保率	道路が利用可能な時間の比率	%	99.7	前年度を上回るよう努め、定期的にチェックしていく
総合	顧客満足度	C S 調査等で把握する維持管理に関するお客様の満足度	5段階評価	3.5	前年度を上回るよう努め、定期的にチェックしていく

※1：平成16年（1月～12月）の実績値

※2：平成17年度末月（3月）の見込値

※3：平成17年度末時点の健全な状態の舗装延長に、今後の補修実施分を加えた健全度を示す

中日本高速道路株式会社 道路網図

凡 例

- 全国路線網(高速自動車国道 供用中)
- - - - 全国路線網(高速自動車国道 事業中)
- 全国路線網(一般有料道路 供用中)
- - - - 全国路線網(一般有料道路 事業中)
- 一の路線 (一般有料道路 供用中)
- - - - 高速自動車国道(新直轄事業中)

